

## 令和7年度 第4回水道モニター レポート

### ① テーマ：災害対策への意識向上に向けて

- ・ 広報誌に水道に関する情報やコラムを掲載する。備蓄品の確認リストを挟み込む。
- ・ 災害対策等の情報をゴミ袋に印刷する。ゴミ袋は各家庭にあるため効果的だと思う。
- ・ Instagramで #防災 #備蓄品 #水戸市 #災害対策などを付けて投稿する。
- ・ 水道に関するPRポスターを作って市内（浄水場や、配水場など）各所に掲示し、スマートフォンなどで写真を撮ってもらい、防災用品などの景品がもらえる企画を実施する。
- ・ 災害時の水の確保の大切さをLINEで通知する。水道モニターに応募したきっかけも、LINEで通知が流れて気がついた。紙で配布されても、なかなか見る機会がないと思う。
- ・ 自治会に入っていない方もいるので、家に広報誌が届かない方も多くいると思う。スーパー等と連携して、店頭で水戸市からの防災や災害に関するお知らせを掲示してもらい、目に触れてもらえる機会を増やす。
- ・ 市民センターで定期的に災害等に関する様々な視点での意見交換の場を設ける。
- ・ 「水道使用量のお知らせ」の裏面を活用して情報提供を行う。
- ・ 「水道使用量のお知らせ」の「通信欄」を活用する。内容が一方的にならないよう、都度リニューアルしても良いかもしれない。水道モニターメンバーで毎年少しずつ考えや意見を出し合うのはどうか。
- ・ 「水戸水」をもっと流通させて、備蓄用品として活用してもらおう。
- ・ 早い段階から災害や危機管理の意識を持ってもらうため、子供達への教育が大事。出前授業や小中学生がモニター活動をしてほしい。
- ・ 水道メーターの点検時に、地区ごとの給水拠点の場所を案内するお知らせを配布する。マグネットのようなものもあると良いと思う。
- ・ テレビのデータ放送を活用する。スマートフォンが使えない方には、テレビでの情報発信が有効だと思う。
- ・ 那珂川が私たちの貴重な水源であるを知った。何かのイベントと合わせて、ボランティア活動で河川周辺のゴミ拾いなどの活動を行ってはどうか。
- ・ 自治会の総会で災害・防犯についてのチラシを配布してもらおう。
- ・ 災害対策のDVDを作成し、市民センター・図書館で貸し出しをする。

※内容が重複しているものは、集約して記載しております。

## ② その他の意見・感想

- ・飲み水になるまでの道のりや管理されている様子を見せていただき、水の大切さやありがたさを感じた。ライフラインについて真剣に考える良い機会になった。
- ・普段入れない施設や設備を直接見られて、水道をととても身近に感じた。
- ・意見交換の時間で、災害時の備えについて参考になる意見が多かった。これまで、自宅で被災することしか想定していなかったため、帰宅後に毛布や軍手、給水車からもらった水を入れるポリタンクなどを車に積み込んだ。
- ・説明など丁寧で分かりやすく、大変勉強になった。日程について、もう少し、間に余裕があると助かった。
- ・給水拠点の知見を得られるとともに存在を認知できたのは、とても良かった。
- ・応急訓練での組み立て訓練は、有事の際に大変に役に立つと思う。
- ・施設見学に向かう途中、水道管耐震工事で片側通行になっている場所で説明を受けた。水道管も老朽化が進み、耐震対応も急務になっている昨今であるが、それも水道モニターに参加して初めて強く意識するようになった。
- ・自分の家の水がどこから配水されているのか知ることができた。気になっていた千波配水場も見学できてよかった。
- ・災害が起きてからではなく日頃から備えることが大事だと思った。モニターで学んだ情報は微力ながら周知できるようにしたい。
- ・テレビ番組で、今後は日本の多くの自治体で水道料金が値上がりするだろうということが話題になっていた。資料の中に水戸市の水道事業に関する財務諸表があったが、表の見方がよく分からなかった。安心して良いのかダメなのかよく分からず、質問しておけば良かったと思った。
- ・モニターに参加し、水道への理解が深まった。もう少し詳しく知りたいこともできた。
- ・水道の維持管理に関して、利用者側の立ち位置では気が付かない、運用面等を知ることが出来た。
- ・意見交換で、他の家庭の防災対策が分かり、自分の防災対策の参考になった。